

## 有識者意見の概要及び意見に対する対応

1. 調査研究課題名 政策効果の分析システムに関する研究 空間経済学的手法を応用した国際物流需要予測モデルの開発	
2. 有識者意見の概要及び対応 政策効果分析システムに関する研究会WG 森杉壽芳 東北大学教授、上田孝行 東京大学教授（座長）、石川良文 南山大学助教授、 小池淳司 鳥取大学助教授、大橋忠宏 弘前大学助教授、宅間文夫 明海大学講師、 石黒一彦 神戸大学講師、河野達仁 東北大学講師	
意見の概要	意見に対する対応
<ul style="list-style-type: none"> <li>シナリオ分析における輸送コストの設定は、日本発着だけではなく全てのODについて輸送コスト低下率を設定すべきと考えられるが、今回はそれを簡便に分析したという位置づけになる。</li> <li>経済連携協定の影響について、日本を4地域に区分して示しているが、例えば東日本で徴収された関税の便益が東日本に帰着するとは限らないので、経済連携協定シナリオ分析における帰着便益は日本を一つの地域として整理すべき。</li> <li>便益については、便益帰着構成表を作成すべき。</li> <li>将来シミュレーションについては、このモデルの構造では推計値がぶれる可能性があるが、時系列的な成長パターンがわかる分析を行っても良いのではないかと。</li> <li>時間的に可能な範囲でよいが、既往モデルとの比較について詳細に整理すべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご指摘の点については、今後の検討課題とした。</li> <li>経済連携協定の影響に関して、GDP及び帰着便益は日本4地域を統合した結果を示すこととした。（4.（6）シナリオ分析の結果）</li> <li>便益帰着構成表を作成して便益の波及過程を確認した。（4.（6）シナリオ分析の結果）</li> <li>スーパー中樞港湾整備、大型船寄港による輸送コスト低下に基づく年次別の帰着便益を計測し、各地域への影響を確認した。（4.（6）シナリオ分析の結果）</li> <li>ご指摘のとおり既往モデルとの比較表を追加した。（3.（1）本調査で構築するSCGEモデルの特長）</li> </ul>